

小さな拠点から大きな魅力を発信



藤棚

地区概要

薩摩川内市南部の山間部にある、6自治会で構成される地区。小規模の水田や棚田が多い。薩摩川内市景観重要資産第1号の「藤本滝」や、きれいな藤の花が咲き、毎年多くの方が訪れる「藤棚」など、豊かな自然景観を有している。薩摩川内市街地のほか、鹿児島市・日置市・いちき串木野市からのアクセスがよい。

を契機に、住民が主体となってまちづくりを行う新たな組織として、小学校区を範囲としてコミュニティ協議会を設立。

平成30年に市の「小さな拠点づくり事業」のモデル地区として決定され、交流拠点「抛り所ふじもと」を整備した（令和2年1月完成）。整備にあたっては、どのような施設にするか事前に話し合いを重ね、作業は住民や地区外のボランティアの協力を得て行った。

「抛り所ふじもと」は住民の交流スペースのほか、地元農産物などの販売も行っている。

コミプラ設立の経緯、拠点整備

市町村合併により薩摩川内市が誕生したこと

特徴的な活動

①ホッケースティックを利用！田園ゴルフ大会

ホッケーのまち旧樋脇町ならではの、ホッケースティックを使ったゴルフ大会を、稲刈りが終わった後の田んぼをコースにして開催している。令和3年で第17回目となり、毎年、住民のイベントとして大きな楽しみとなっているほか、地域外からも幅広い年代の人が参加されており、地区の活性化につながっている。



田園ゴルフ大会

②交流の拠点！「抛り所ふじもと」

住民が意見を出し合い、作業も自分たちで行って作った施設。日用品、食料品や農産物の販売を行う「藤本ふれあい店」に併設されていることから、買い物ついでに住民が立ち寄り、イベントが開催されたりするなど、交流拠点として機能している。



抛り所ふじもと



抛り所ふじもと Instagram

今後の展望（コミプラの声）

人口減少・高齢化の課題解決に向けて、若い人のコミュニティの行事への参加を促す取組を始めていきたいと考えている。また、桜や紅葉の苗木を植樹することにより、四季によって様々な面を楽しめるような地域づくりを目指している。そのため、藤本地区のマップ作成にも力を入れている。

薩摩川内市から一言

地区の魅力を最大限生かした独自の活動を積極的に行っている地区です。現在、新たな名所づくりや地区を楽しく散策できるマップづくりに取り組んでいますので、是非皆さん藤本地区にお越しください。

利用した補助金など

- ・薩摩川内市地区コミュニティ活性化事業補助金（基本コース）（市）（H30年度）
- ・市町村振興助成金（公益財団法人鹿児島県市町村振興協会）（R3年度）
- ・「宝くじ桜」寄贈事業（公益財団法人日本さくらの会）（R3年度）



薩摩川内市
市民活動情報サイト
（藤本地区のページ）



薩摩川内
観光物産ガイド

Passion

持てる魅力を 最大限に活かすべし！！